

令和 7 年度第 2 回美浦村定例教育委員会議事録

- 開会日時 令和 7 年 5 月 2 7 日（火）午前 9 時 3 0 分
 ○閉会日時 令和 7 年 5 月 2 7 日（火）午前 1 0 時 2 5 分
 ○開会場所 美浦村役場 3 階 大会議室
 ○出席委員等
 教育長 小松 正樹
 教育長職務代理者 田組 順和
 委 員 木村 寿
 委 員 林 美恵子
 委 員 武田 美佐登
 ○出席事務局職員
 教育部長 葉梨 美穂
 学校教育課長 松葉 時男
 指導室長 若林 功
 子育て支援課長 葉梨 裕美
 生涯学習課長 石川 大志
 美浦幼稚園長 矢崎 和子
 大谷保育所長 広瀬 良子
 木原保育所長 加藤 厚子
 ○欠席委員 なし
 ○傍聴人 0 人
 ○提出議案及び議決結果

案 件		審議結果
報告第 1 号	財産の取得に係る意見聴取について	—
報告第 2 号	令和 7 年度美浦村一般会計補正予算に係る意見聴取について	—

○教育長

ただ今より、令和7年度第2回定例教育委員会を開会いたします。本日の会議は全員が出席いただいております。教育委員会会議規則第17条第2項により、議事録署名委員を指名いたします。武田委員をお願いいたします。

【報告第1号 財産の取得に係る意見聴取について】

【学校教育課長 説明】

【非公開】

【質疑応答】

○田組教育長職務代理者

ご説明ありがとうございました。

児童生徒のタブレットが変わるということで、この契約のことではなくて、実際に使うということを考えたときに、学校のほうにも関わることで、そのところで綿密な打合せというか説明っていうのが必要になってくると思います。県のほうも関連しているっていうことなので、その辺のところ、先生方にとっていい形で下ろしていけるようになっていくと一番いいのかなと思うので、契約のこととは別に、その後の運用の面が、多分今後また5年間という形になっていくと思いますので、その辺のところをしっかりと確認してもらえると一番いいのかなと思いました。

○松葉学校教育課長

貴重な御意見ありがとうございました。

今回タブレットにつきましては、先ほども説明いたしましたが、県のプロポーザルで、Windows 端末についてはこの機械をというところで決まっていますので、あくまでタブレット本体の購入については、こちらの契約という形になります。

その後の、中身の仕様につきましては、各市町村で自由に決めていく部分になりますので、使い方については、また、別に進めていきたいと考えておりますのでよろしくをお願いします。

○若林指導室長

田組教育長職務代理者からあったお話について、ちょっと自分が感じたことをお話しさせていただければと思います。

今回、夏休みのタイミングで子どものICT機器が変わるということになっております。これは以前も同じことが起こって、私はそのとき美浦中学校にいたんですけど、やはり子ども達がコンピューターを入れ替えるだけでも大変だったんですけど、入れ替わった後にそれを使うに当たっては、スムーズではなかったんですね。今回も同じようなことが起こるのかなと思いますけど、では、その使えない期間どうするか、学習がとまったり、コンピューターがあって当たり前の授業形態になってきておりますので、その辺のところは、指導室としても関わりながら、できるだけ先生達もそうですし子ども達もスムーズな形ではいれるようには見ていきたいと思っています。

もうコンピューターありきになっています。もう、文具化しておりますので、その辺のところは十分気を付けていきたいと思っています。

○田組教育長職務代理者

ちょうどあのときは、コロナ禍であって、先に道具が入ってきてっていう形であ

ったかと思うんです。

今、室長がおっしゃるように、もう学校現場のほうで使うことが当たり前になっている状態で、そういった中で、今回、分かればなんですけど、大きく何か使い勝手の部分で変わることとかあれば教えてください。

○松葉学校教育課長

使い勝手といたしましては、基本的にはそこまで大きく変わるということはありません。

あくまで、タブレットの機器自体が、今使っているものが5年経過してしまっていて、耐用年数のほうも過ぎてきているっていうところで、コンピューターの本体自体が今回、この夏休み中に切り替わるような形で、今現在のところは、大きくシステム自体のほうを変更するという予定はないところです。

ただこの後、設定業者のほうとの関係もあるので、すぐに変更できるかどうかというのも分からないので、こちら学校の要望等も聞きながら、設定のほうは現在も行っておりますので、その辺は特に大きな問題はないのかなと自分なりではございますが、そう思っています。

【報告第2号 令和7年度美浦村一般会計補正予算に係る意見聴取について】

【学校教育課長→木原保育所長 説明】

【非公開】

【質疑応答】

○木村委員

児童館のことについてなんですけど、今年の児童館の希望が非常に多く、今、大谷児童館と木原児童館で運営をなされているという形かと思いますが、希望者が多くて、現在はどんなふうに対応をしているかということと、この後って、児童館に関してはどうなふう計画がなされているのかっていう、詳しい内容というか、今年はどんな感じで、この後どんなふうになっていくのかなということを聞きたいかなと思ったんですが。

○葉梨子育て支援課長

今年度については、児童館は大谷児童館、木原児童館で、去年度までは安中には児童館はなかったんですが、児童クラブとして、安中小の方で大谷第2児童クラブとしてクラブの方を行ってまいりました。

今年度につきましては、美浦小学校統合により、安中小学校で行っていた第2児童クラブが閉鎖となったので、大谷児童館と木原児童館の2か所で児童クラブを行っております。

スクールバスでの送迎の関係もありましたので、去年度の11月ぐらいに、例年ですと年度末に児童クラブの申込み等をしてまいりましたが、送迎の関係もありまして、時期を早めて児童クラブの申請を行いました。

安中で行っていた児童クラブのお子さん達を大谷児童クラブのほうで、クラブを行うということで考えていたんですけれども、思った以上に大谷児童クラブのほうで人数が当初のとき多くなってしまいました。それで、当初申込みから、今現在に至っても、途中から児童クラブを利用したいということでの申込みもありますので、どうしても人数の関係で、大谷児童館では児童クラブの定員が多くなっております。

それで部屋の方もロッカーなどもいっばいで運営していることから、途中の利用申込みにつきましては、木原児童クラブのほうに入っていただくということで対応を現在させていただいております。

中には小学校1年生なんかは、大谷保育所に通っておられて、大谷児童館のほう良かったというような、友達の関係とかでそういうことも聞かれるんですけども、どうしても人数の関係で木原児童館のほうで児童クラブを利用してくださいということで対応をさせていただいております。

小学校の授業が終わってから児童クラブの利用になりますので、送迎については、まず自宅に帰るお子さん達がスクールバスで下校した後に、2便目、3便目として、児童館行きのスクールバスを利用して、児童館まで送迎をしております。

現在の児童クラブの登録者数としましては、5月1日現在で、大谷児童クラブが115名、木原が103名で合計218名ということで登録はいただいております。

ただ、この登録者数がありますけれども、登録いただいている利用者が、毎日全員が利用するというわけではなく、保護者さんのお仕事の都合等で、何曜日と何曜日の利用、週5日の利用等人数が増減するものですから、日々の児童館利用は日によって違うというようになっています。

○木村委員

ありがとうございます。

多くの子ども達が利用させていただきありがとうございます。

大谷とか木原とかの、児童館の部屋に対しての人数って決まっているんですか。

○葉梨子育て支援課長

部屋の面積等は決まっておりますが、ただ、満員なので受入れませんということは今まではしていません。

待機というような方法もあるんですけど、低学年のお子さん達を優先的にお預かりして、5、6年生は待機という方法もあるんですけど、今まで美浦村ではそのような待機は出さずに、登録いただいたお子さんは利用できるように、いっばいにはなってしまうんですけども、お預かりしているような状況でございます。

○木村委員

多くの子ども達がお世話になりますよろしくお願いします。

この後は、新たに建設とか、そういうことが計画なされているんですか。

○葉梨子育て支援課長

今後の児童館、児童クラブの建設予定ですけど、今まで、令和4年度あたりから、児童館、児童クラブの施設の整備について、いろいろ検討してまいりまして、今年度については、小学校、中学校の付近に児童厚生施設の建設に向けて、基本構想、基本計画から考えてまいりたいと予定をしております。

今年度その基本計画、基本構想を作成しまして、そのための基本計画策定委員会を立ち上げまして、委員の皆さんをはじめ、保護者代表の方、学校関係の方にお集まりいただいて委員会を設置しまして、計画のほうを策定してまいります。

来年度については、基本構想をもとに、実施設計を行ってまいるという予定であります。来年度8年度に実施設計、9年度に建設工事の予定、10年の4月に開設できればということで進めている状況です。よろしくお願いします。

○木村委員

ありがとうございました。よろしくお願いします。

○田組教育長職務代理者

先ほど補正予算のほうでも、小学校が開校して、新たに必要ということで、カーテンの件とか本当にありがとうございます。

それで、今、不審者っていうのが全国的に見て問題になっている状況で、2か月、新しい学校がスタートした中で、環境が変わった中で、ちょっと気をつけてなくてはいけないことであったり、どうしても道路とやはり近いということで、気になったりする所も何か所かあるのかなという気がしています。

それで、その辺のところ、その対応ができる部分があるのであれば、学校等の要望を聞いて、具体的に対応していく必要があります。起こるかどうかは分からないんですけど、ここは大丈夫だとか、ここはちょっと気をつけて対応したほうがいいよなっていうところがあれば、確認していく必要が出てくるのかなって感じています。

○松葉学校教育課長

ただ今の田組教育長職務代理者からの、貴重なご意見ありがとうございます。

先ほどの今回の補正予算で、カーテンを購入する予定になっておりますが、その中で1か所、1階の南側ですね、歩道橋のすぐ近くのところの通用口、あそこが、今、カーテンも何もない状態で、中がすごく見える状況になっていきますので、今回、カーテンを設置する場所としまして、その通用口のところも、カーテンを設置して目隠しするような形で対応はとる方向で動いております。こちらロールスクリーンにするかカーテンにするかっていうところも悩んだんですが、こちら先生の方と協議しながら、子ども達が危なくないのはどちらなのかとか、その辺も考えながら、カーテンを選んで今回は設置するような形で動いています。

○小松教育長

生活してみて、色々なことが分かってくると思うんで、また随時意見を交換しながら、より良いものにしていただければと思います。

○林委員

防犯のことが出ていまして、先日立川市の方で、学校に侵入してっていう怖い事件がおきて、子ども達も怖い思いをしたと思うんですけども、防犯に対する子ども達の意識を高めたりスキルを高めたりするのもやっていると思いますが、その辺の取組みをお聞かせいただきたいのと、オープンスペースで教室の出入りが自由になってきたと思うんですが、そういった場合に、以前の教室だったら、立川市の場合も扉を閉じてしまってバリケードを作ったということで子ども達も動いたみたいですが、今度オープンな感じになっているので、そういった場合にどの様にしたら子ども達を守れるのかなというところをお聞かせいただきたいと思います。

○若林指導室長

まず、最初にありました事件に関することでございますけども、すぐに、校長先生、教頭先生、教務主任、3者に対し、教育長、それと私のほうで会議をもちまして、安全対策のお話をさせていただきました。

まっ、想定外なんですね、起こっていることが。学校には危機管理マニュアルというものがしっかりと作られておりまして、不審者に対しても、入ってきたときにはこうするといったものがマニュアル化されております。それを全職員できちっと共有して対応といったことはできております。

しかしながら今回起こった事件も、そういう想定外なんですね。当事者であった校長先生方も、そのようなコメントをされているかと思います。

教育長も私も想定外のことが起こるといった中から、安全対策を講じていかなければ

ればならないということで、今回は校長先生方にお話をさせていただいておりますので、しっかりと、早急に見直しはして行きます。それをお伝えいたします。

それと美浦小学校につきましては、オープンスペース、今、教室のドアを開いて、オープンスペースと一緒にしながら授業を展開していただいております。

しかしながら、ドアがあるということは、そういったときにはすぐにドアを閉めると、こういったことは共通理解が図られています。実際にバリケード等の準備まではまだできてないんですけども、こういったものはきちっと学校のほうには研修を積んでいただきますので、また改めて、本日、ご助言頂きましたのでしっかりと学校のほうには話をしていきたいと思います。以上でございます。

○小松教育長

玄関なんかは常時施錠してあるよね。だから行くとピンポンを鳴らさないと開かないシステムになっていますね。

○木村委員

今の防犯のやつは、現在、すごく大事なことになるかと思うんですが、私の方でもう一個聞きたいなと思ったのは、小学校各3校、安中、大谷、木原とあったと思うんですけども、新しい小学校が出来て、今、閉めたままになっていると思うんですが、その小学校は誰かが見回りをするとか、又は今こういうふうに使っているとか、今後は教育センター化していくんだとか、小学校の跡地が、現在、どうなっているのかっていうことと、今後はどういうふうを活用していくのかという点についてお聞かせください。

○松葉学校教育課長

まず旧小学校の防犯対策としまして、旧小学校自体は、校舎のほうは使っていないくて、体育館につきましては一般開放ということで、こちらは住民の方に貸出しはしている状況なんですけど、校舎は全然利用していないというのが現状です。

ただ、校舎につきましてはまだ警備のほうで3校とも入っていますので、もし、深夜に窓を割られて侵入されたとか、そういうことがあったときには、警備会社が駆けつけるような形はまだとられております。また、電気のほうもまだ生きていますので、防犯カメラも3校とも動いている状況ではあります。

校舎の現在の防犯対策としては、防犯カメラと警備ということしか対応しておりませんが、対応としては以上です。

小学校の今後の利用につきましては、現在企画財政課のほうで、学校跡地利活用検討委員会という協議会を立ち上げておりまして、そちらで跡地についての利活用を検討していくような形になっておりますので、そちらは教育委員会から離れてしまおうんですが、跡地の利用についてもそのような形で検討はしているところでございます。

○小松教育長

企画財政課のほうで進展している部分もあると思うんで、状況を少しでも分かれば、次回あたりにご報告はできるかなと思います。

○若林指導室長

学校の様子を少しお話しさせていただきたいと存じます。

資料も1部、カラー版のものを用意しましたのでご利用いただければと思います。

美浦小学校の開校から二月がたとうとしております。スクールバスによる登下校もスムーズになってきており、美浦小学校のライフスタイルとして定着が見られ始

めました。5月はゴールデンウィークもあり、休み明けの児童の様子が気になりましたが、大きなトラブルもなく本日を迎えることができいております。

5月18日には、小中合同のPTA奉仕作業が行われまして、多くの保護者の方々が休日にもかかわらず参加してくださり、除草作業にご協力頂きました。

5月19日には、小中合同の引渡し訓練が行われ、地震発生時の避難や引渡し手順等の確認が行われました。引渡しにつきましては、ほとんどの保護者が1時間以内に学校を訪れ、安全な引渡しにご協力頂きました。

課題として挙がったことは、外国籍児童生徒の保護者に、引渡し訓練の詳細がうまく伝わっていなかった点にあります。当日、引渡し予定時間を過ぎても引渡すことができず、長い時間待機させてしまった児童生徒は、全員が外国籍の子ども達でした。

家庭連絡を通してお迎えには来ていただいたのですが、事前に伝えた内容が実際には理解されていなかったということが原因でした。この点については早急に対応を考えなければならないと強く感じております。

中学校では、5月8日から2泊3日で京都、奈良方面への修学旅行が行われました。班別行動を活動の中心に据えたことにより、主体的に学習に取り組むことができたと報告を頂いております。

昨年度、他市町村ではありますが、修学旅行に引率した教師がしおりを紛失し、個人情報漏えいの可能性が生じた案件として大きな問題となりました。

本村では未然防止策として、しおりへの個人情報の記載は行わないという方針とし、修学旅行先で児童生徒の個人情報が必要になった際には、ICT機器を使用してセキュリティー対策が講じられたインターネット上のデータベースから、管理職や養護教諭等の限定された教職員が情報を得る仕組みで対応しております。

さて緊急報告は以上とさせていただきます。今月は今年度本村で力を入れて取り組んでいる英語教育について、取組状況をお伝えさせていただきたいと存じます。

では改めて別紙のほうをご覧ください。

今年度美浦村教育指導方針にも示したとおり、グローバル社会に対応できる教育の推進として、英語が話せる子どもの育成を目標に掲げました。

将来的には、美浦型英語教育プログラムを開発し、美浦村の義務教育を受けたならば、誰もが自分の人生を切り開く手段として、英語を活用することができる姿をイメージしております。4月から7人のALTを村の会計年度任用職員として雇用し、幼児教育施設に1名、小学校に4名、中学校に2名配置しております。

美浦幼稚園では、現在、年中、年長対象に週2時間程度、遊びを通した英語活動を行っております。ALTがジェスチャーを使いながら、英語のみで基本的な挨拶やアルファベットの歌などを教えています。

園児は英語を外国語として捉えるのではなく、日本語同様に生活の中の言葉として、肌で感じている様子が見られております。

美浦小学校では、中学年の3、4年生が週1時間、高学年の5、6年生が週2時間、英語学習を行っております。授業は教科教室であるイングリッシュルームで行われており、常時4人のALTと日本人英語専科教員1名が指導に当たっております。授業はオールイングリッシュで行われ、現在は話すことや聞くことを中心に学習を行っております。授業はクイズ形式やゲーム的要素をたくさん取り入れており、動きのある授業を通して、楽しみながら英語を学ぶ姿が見られております。

美浦中学校では、全学年週4時間英語の学習を行っております。ALTは、各授業に、1から2名配置しており、日本人英語担当教師と連携しながら、教科書の内容を中心に、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの4技能をバランスよく学習しております。生徒の様子としてALTが増員され、直接話す機会が増えたことにより、少しずつではありますが、英語学習への抵抗感が薄らいできた様子が見られます。

中学校の英語学習は、高校受験もあることから、どうしても学習形態が座学中心になりがちで、現在の美浦中においても同様の課題が見られます。英語が話せる子どもの育成を考えた場合、学習形態の工夫が一つの鍵となりますので、今後日本人英語担当教師の研修をしっかりと行い、教師主導の教える授業から生徒主体の学ぶ授業に変わっていきけるように努めていきたいと思っております。

最後に、ALTの研修についてですが、現在週1回、アチーブゴールの研修担当者が来校し、授業参観、振り返り、スキルアップ指導を積み重ねております。

また、ALT自身の日本語力向上のための日本語オンラインレッスンを実施しており、少しずつではありますが、日本語や日本文化に慣れ始めてきた様子が見られております。

どのALTも明るく笑顔でコミュニケーションがとれるので、各校の先生からも接しやすいという好印象のお話を伺っております。

以上で今月の小中学校の様子について報告をさせていただきます。

○武田委員

ありがとうございました。

私のほうから、子ども達と話す機会がちょっと多い職業のため、金曜日になると子ども達からいろんな小学校の話を聞くので、それをちょっとお伝えしたいなと思ったんですが。

まずバスの運行なんですけど、バスにすごく慣れてきていて、とても騒がしくて、6年生たちは、すごく1年生2年生の面倒を見ようと思って頑張っているようなんですが、なかなか大変だということで。運転手さんが怒ったりして大変じゃないかなっていう話をちょっと聞いたもので、運転手さん1人で騒がしい中、集中して運転できるのかなってちょっとそれが不安になったことと、小学校は新しくてきれいなところに落書きがあったりとか、お菓子のごみが落ちていたりとか、そんな話を聞いたので大丈夫かなというか、そういうふうなお子さん、保護者の方もいるんだなっていうふうに、バスに乗るときに持たしちゃうのかなとか、持ってきてちゃうとか、何かそんな不安があります。

ただ、バスの時間が全て悪いわけではなくて、1便、2便って分かれているところで、2便のバスで帰る子なんですけど、学校で待つ時間があって、その時間で、宿題ができるとか、すごくいい時間になっていると。図書室で本が読めるとか、そんなすごくいい時間になっているっていうことを聞きました。

あと、英語の授業が、オールイングリッシュということなので、先生達は日本語しゃべれないんだよっていうことで、すごく子ども達は英語を話さなくちゃ、話さなくちゃっていうことで、すごく楽しんでいるようなので、是非、今後もうこういうふうに積極的に子ども達がなってくれたらいいなと思っています。

○若林指導室長

武田委員、貴重なお話ありがとうございました。

そういう子ども達から上がってきている生の声っていうのは、なかなか私もキャ

ツチできない部分がございますので、大変助かります。

小学校の落書き、お菓子の件については、これは私も承知しております。私のほうで、朝の時間はバスターミナルに行っていまして、子ども達が降りてくる様子は見させていただいております。

この後、松葉課長からもあるかもしれませんが、直接バスの運転士さんから、何処どこから乗ってくる誰々さんがちょっと心配なんだけどってというお言葉も、私が直接伺った経緯もございます。そういったコミュニケーションを、騒動の話はすぐに学校のほうにお伝えをして、その日のうちに学校は対応してくださっているようですので、ここら辺のところをやりながら、少しずつ改善をしていきたいと思います。

どうしても、子ども達ですので、こちらが思っているとおりきちっとっていうわけにはいかないと思っております。ただ、今とても大切にしたいのが、子ども達に考える場を与えるといったところ。全部先生たちが管理するのではなく、5年生6年生が頑張ってくれているならば、その頑張りを通してさらに良くなっていけばなと思いますので、お菓子についてもそうです、持ってくるのは悪いんですが、それを考える機会にはなると思いますので、そういったところを学校と連携しながら、対応していきたいと存じます。

今後ともそういう情報を頂ければと思います。よろしくお願いします。

○松葉学校教育課長

それではバスの件について私のほうからご回答させていただきます。

運転手のほうから、バスの中が騒がしくなってきたという話は、学校教育課のほうにも上がってきておりますが、走行中に動いちゃうとか、そういう危険なことはまだ報告はなくて、あくまでうるさいって言うところですので、こちらにつきましては学校等を通しまして、マナーですね、ルールの部分になると思しますので、こちらは先生方の協力もお願いして、子ども達にバスのルール、乗車ルールというのかな、マナーっていうのを教えていただけるようにしていきたいと思います。

また、保護者に対しても、家庭でもバスでのマナーを考えてもらうような周知はしたいなとは思っています。貴重なご意見ありがとうございました。

○小松教育長

定期的に保護者、学校と教育委員会のほうで打合せをもって、状況を勘案しながら善後策を講じてますんで、いろいろ情報をいただければと思います。

○田組教育長職務代理者

ご説明ありがとうございました。

すごくりーフレットっていうか、いい写真で、本当につくるのは大変だったと思います。すごくいい形で、室長がおっしゃっていたように、これから焦らないでじゃないですけど、質の部分での向上っていうのは本当に大切になってくると思えます。

一つなんですけど、当然、文科省と厚生省ってあるかもしれないんですが、ALTは保育所のほうはなくて、幼稚園だけに現在になってしまっているんですかね。

○若林指導室長

幼児教育施設に1名という配置で、木原保育所、大谷保育所、美浦幼稚園といったところに順番に回ってくような形で、今回は美浦幼稚園だけをご乗せさせていただきましたが、同様な形で、保育所さんでもやっていただいております。

○田組教育長職務代理者

そうしたら写真は幼稚園かもしれないけど、保育所って入れておいてもいいのかなって思いました。ご苦労さまです。

○小松教育長

では以上をもちまして、令和7年度第2回定例教育委員会を閉会いたします。